

平成27年6月議会 市長所信表明

ここに議長のお許しを得て、私の尾道市政に対する考え方を申し上げたいと思います。

私は、先般の尾道市長選挙におきまして、市民の皆様からのご信任をいただき、尾道市長として3期目の重責を担わせていただくことになりました。

引き続き本市のまちづくりの舵取り役を任せていただくことを光栄に感じるとともに、市民の皆さまと共に新しい時代に向けた尾道の礎を築いていく使命と責任の重さを改めて痛感しているところでございます。

本市では、地方創生が叫ばれている中で、議員の皆様とともに尾道への流れを作るよう取り組んできた中で、本年3月22日に中国やまなみ街道の全線開通を実現することができました。

さらに、4月には文化庁より日本遺産の認定をいただくことができたところでございます。

中国やまなみ街道の全線開通では、瀬戸内しまなみ海道と結ばれた南北軸と、山陽自動車道等による東西軸が交差する「瀬戸内の十字路」が完成することができました。

また、昨年6月に日本遺産の制度が創設される情報を得てから、関係者の皆様のお力をお借りしながら認定に向けて取り組んでまいりましたことが実り、尾道水道とその町並みが日本遺産として認定されましたことは大変名誉なことであるとともに、尾道市の念願がかない、皆様に感謝申し上げます。

皆様と全力で取り組んできたことの成果によりまして、まさに今年度から始まる地方創生に向けスタートが切れる態勢ができてまいりました。

中国やまなみ街道によって完成された「瀬戸内の十字路」としての広域拠点性や、日本遺産の認定によるブランド力の強化は、尾道創生を加速させる大きな追い風となり、本市が飛躍的に発展する原動力になると確信しております。

私は、このたびの選挙を通じて、「尾道☆キラリ。挑戦そして実現」をスローガンに掲げ、尾道の底力をさらに引き出し、新たな尾道の創生に継続して取

り組み、これまでのまちづくりの流れをさらに加速させるために、「今より、もっと強く、元気で、豊かな尾道」のまちづくりを市民の皆さまに提唱してまいりました。

この「今より、もっと強く、元気で、豊かな尾道」のまちづくりを実現するための4つの基本政策について、考え方を順次述べさせていただきます。

まず、第一に、「人づくり」への挑戦であります。

子育て支援、教育の充実により「子育てするなら尾道」を実現し、世代を越えて輝く人づくりを進めてまいります。

子育てについては、本年3月に策定した「尾道市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、医療費や保育料等、子育てにかかる費用の負担を軽減するための取組等、子育てに対する不安や負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進するとともに、子どもの健全な成長を目指し、市民全体で子育てできるよう、子育て支援体制の整備に努めてまいります。

教育については、就学前での生活や学びの基盤づくりにより、義務教育との円滑な接続を図るとともに、学校教育では、夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く力の育成をめざす「尾道教育みらいプラン」に基づき、知、徳、体ともに充実した、信頼される「尾道15年教育」の取組みを着実に進めてまいります。

また、「地域教育支援活動促進事業」や「放課後子ども教室推進事業」の取組の充実を図り、学校・家庭・地域の協働による教育環境づくりを進めてまいります。

市民の誰もが、生きがいを持って豊かな人生を送ることが出来るよう、「おのみち市民大学講座」や「50歳からの地域デビュー応援講座」等ライフステージに応じた学習機会を提供してまいります。

女性の能力が十分に発揮でき、あらゆる分野に参画できる社会は、性別にかかわらずだれもが生きやすい社会であり、社会全体の活力を増すものと考えております。男女共同参画を推進する条例の制定に取り組むなどして、女性が輝くまちづくりを進めてまいります。

また、地方創生の中で、大学が占める役割は大きいものと思っております。

尾道市立大学では、教育、研究、地域貢献及び国際交流の4つの項目を重点

として取り組んでおりますが、特に国際交流の分野においては、新たに提携した国立嘉義大学など台湾の4大学をはじめとする、提携校との交換留学や語学研修などを通じて、国際社会に通用する人材の育成に努めてまいります。

また、国が推進する地方大学等創生5か年戦略に沿って地元進学、地元就職の促進等に取り組んでまいります。

第二に、「新たな経済成長」への挑戦であります。

瀬戸内の十字路としての拠点性や日本遺産の認定によりさらに高まっている尾道ブランドを活かし、地場産業の振興を図るとともに、創業支援やIT企業等の企業誘致を進め市内経済の成長を実現してまいります。

具体的には、中国やまなみ街道開通によって高まった、本市の拠点性を活かす新たな産業団地の整備や民間の遊休地等への企業誘致の取り組みを行うとともに、市内の企業の生産能力の増強、生産基盤の拡張などに対する支援に努めてまいります。

また、国内屈指の集積を誇る造船業が、本市の経済発展を継続的に支える産業として維持・発展していくため、「尾道市造船産業振興ビジョン」に基づいた振興を図ってまいります。

観光については、「しまなみ海道」がアメリカCNNで「世界で最も素晴らしいサイクリングロード」の7つのうちのの一つに選ばれたことや、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催などの効果もあり、しまなみ海道を訪れるサイクリストや訪日外国人が大幅に増加しております。

今後も日本遺産の認定により国際的なブランド力が強化されることを活かし、国内外からの誘客を図るとともに、夜間景観の整備を初めとした取組みにより、本市の魅力ある資源にさらに磨きをかけ、国内外への情報発信と訪日外国人観光客の受入体制の整備に努めてまいります。

また、本市では、その気候風土を生かして、全国に誇れる多種多様な農産物が生産されています。

さらに瀬戸内海の季節感豊かな水産物が水揚げされておりますが、これら農水産物の尾道ブランド力を高め、JAや広島県との連携や、農商工連携などによって6次産業化の推進を図るとともに、トップセールスなどにより創業や新

たな販路開拓を支援してまいります。

その一方で、丹精込めて生産された農産物を守るために、住民と一体となった有害鳥獣対策を強化することが必要であると考えております。

今後とも、農林漁業の活力と魅力を増大させる取組を行うことで、持続的、安定的な経営が実現するよう支援していきたいと考えております。

第三に「安心な暮らしづくり」への挑戦であります。

御調町、向島町との合併から11年、因島市、瀬戸田町との合併から10年を迎え、市域の一体感の醸成と均衡ある発展を目標とする新市建設計画を着実に実施することにより、各地域での生活基盤や医療・消防力の充実など市民の安全安心な暮らしを実現することが私に課せられた最大の使命と認識しております。

そのためにも、防災機能を備えた本庁舎、支所の建設や消防施設等の整備、クリーンセンターの整備などを着実に実行してまいります。

併せて、小中学校の耐震化を早期に完了して、次に保育所や幼稚園の耐震化に取り組むとともに、急傾斜地対策や消防力の強化に努めるなど、防災・減災のための整備や体制づくりを進めてまいります。

また、地域の中核病院として、市民病院・公立みつぎ総合病院の充実を図るとともに、市内外の医療機関のネットワークを構築することによって、医療体制の充実に全力で取り組んでまいります。

併せて、医師会や公立みつぎ総合病院を中心とした尾道市独自の地域包括ケアシステムを全市的に展開させながら、医療と介護の一体化をさらに推進してまいります。

さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていけるよう、歳を重ねることに幸せを感じられる社会の実現を目指す「幸齢プロジェクト」を推進してまいります。

第四に「豊かな地域づくり」への挑戦であります。

御調、向島、因島、瀬戸田そして尾道の合併した各地域の資源を有効に活用しながら、国や県との連携を図り、それぞれが地域づくりを図っていくことで、本市の魅力度をさらにアップさせ、豊かに過ごせる地域づくりを実現していく

ことができるものと考えております。

このたび日本遺産の認定をはじめ、他のまちにはない魅力を活かして、外国人を含む交流人口の拡大に取り組んでまいります。

尾道港は2019年に開港850年を迎えますが、これを機に瀬戸内海という資源を生かして、「港町尾道」のブランド力をさらに高めるため、尾道水道に面した現庁舎を解体した跡地を活用して中小客船の母港化を推進し、「港町尾道」の復興を図ってまいります。

さらに、島嶼部にとって唯一の生活道路である「瀬戸内しまなみ海道」の通行料金問題は、市域の一体感をもったまちづくりには重要な課題であると認識しております。平成26年4月からの現行料金体系に対応した新たな割引制度の導入に向けて関係機関への働きかけを行ってまいります。

昨年末、国において「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等が閣議決定され、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生する地方創生が本格的に動き始めました。本市においても、今年度、尾道市人口ビジョンと総合戦略を策定してまいります。市内各地域の特徴を活かし、市民の豊かで幸せな暮らしを実現するための方向性や施策を、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、尾道創生の考え方としてまとめていくことが必要であるとと考えております。

これからの4年間、尾道創生に向けた流れを止めることなく更に加速させ、尾道の底力を引き出すまちづくりに全力を尽くす覚悟でございます。議員の皆様をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以上で私の所信表明とさせていただきます。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。